

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月08日

計画の名称	蕨市における下水道の防災・安全基盤整備（その2）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	蕨市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	747	A	747	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H30当初	中間目標値 R2末	最終目標値 R4末
1	下水道による都市浸水対策達成率を78.7%（H30当初）から81.7%（R4末）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（509ha）	79%	80%	82%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
蕨市社会資本総合整備計画評価実施要綱に基づく社会資本総合整備計画評価検討会議において評価を行うとともに、蕨市上下水道審議会条例に基づく蕨市上下水道審議会において学識経験者等の第三者の意見を聴取し、評価に反映する。		令和5年10月19日～令和6年2月9日	
		公表の方法	
		市ホームページに掲載	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	錦町地区における雨水管渠整備は本計画に基づくほか、一部は市単独費においても雨水管渠整備を行っており、都市浸水対策として貯留機能も含めて効果が期待できる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> 雨水管渠整備と並行して污水管渠整備及び老朽化対策を進めた結果、市民意識調査の重点施策における「上・下水道の整備、雨水対策」に対する満足度は、毎年高い評価を受けている。 錦町土地区画整理事業に伴い下水道を含む各インフラが整備され、住環境が向上したこともあり、錦町は市内でも人口増加率が高い地区となっている。

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 支障物による計画変更に伴い、整備面積は減少したが、地域全体の浸水防除として有効となる当初計画の路線上流部まで整備完了した。 錦町における雨水管渠は、引き続き、浸水対策効果が大きい路線を次期計画（蕨市における下水道の防災・安全基盤整備（その4）（重点計画））で整備中であり、都市浸水対策達成率は、当初計画の目標値を超える見込みである。
